

小3国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読みとり 98.8%

ねらい：漢字を正しく読むことができるかを問う。

分析と対策：読み方だけでなく、送りがないも必ず覚えるようにしましょう。さらに、その漢字を使った熟語もあわせて覚えましょう。

2 漢字の書きとり 62.5%

ねらい：漢字を正しく書くことができるかを問う。

分析と対策：漢字は、正確な形で覚えることが大切です。その漢字の部首もあわせて覚えると、より知識が深まります。

3 送りがな 88.8%

ねらい：漢字の送りがなを正しく理解しているかを問う。

分析と対策：後ろに続くことばによってことばの一部が変わるものは、形が変わるところから送るのが原則です。ただし、①「しい」で終わる形容詞は「し」から送る、②「か・やか・らか」で終わる形容動詞は「か・や・ら」から送る、③ほかの読み方と区別するために送る、という決まりもあります。まちがえやすいものから覚えましょう。

4 こそあどことば 88.8%

ねらい：こそあどことばを正しく理解し、使い分けることができるかを問う。

分析と対策：こそあどことばは、その指ししめしている内容を文脈から読みとることが大切です。話し手からの距離や、対象がものや人や場所なのか、様子なのかなどを正確に読みとりましょう。

5 主語とじゅつ語 65.8%

ねらい：主語とじゅつ語を正しく理解しているかを問う。

分析と対策：主語と述語が「何は(が)―どうする」「何は(が)―どんなだ」「何は(が)―何だ」のどの形になるのかも考えて見分けましょう。

6 詩の読みとり 53.0%

ねらい：詩で表現されている情景や、作者が感じていることを読みとることができるかを問う。

分析と対策：この詩は、題名にもある「野山をわたる風」を中心に描いています。風が秋の植物をゆらし、その植物たちが風によって光ったりかげったりする様子を見た感動を、作者は表現しています。風で植物がゆれる野山を想像しながら読んでみましょう。

7 物語の読みとり 59.4%

ねらい：場面の状況や登場人物の心情、性格などを読みとることができるかを問う。

分析と対策：文章は、おねえちゃんがドッジボールの練習をしている場面から始まります。おねえちゃんは何かできないことがあれば、くり返し練習する性格で、おばあちゃんは、そんなおねえちゃんを「まげずぎらい」だと言っています。ドッジボールの練習をしていることも、まわりにあまり知られてくれない様子です。ドッジボールの練習をするおねえちゃんの様子や、それを見た「あたし」の反応、おねえちゃんと「あたし」の会話の様子に着目することで、二人の心情や人物像をとらえることができます。

全体の平均点は 66.9 点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。